

韓国製バイ籠によるベニズワイ漁獲特性と混獲防止策の検討

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja): バイ籠; ズワイガニ類; 混獲; 日韓暫定水域
	キーワード (En):
	作成者: 養松, 郁子, 廣瀬, 太郎
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010609

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



韓国製バイ籠によるベニズワイ漁獲特性と混獲防止策の検討

美松郁子・廣瀬太郎

韓国製バイ籠によるベニズワイの混獲防止を目的として、細工をしていない原型籠（入口部最大30 cm四方）、細工1籠（同15 cm）、細工2籠（同10 cm）を通常のベニズワイかご漁業の幹縄に装着し、採集調査を行った。原型籠は甲幅100 mmを超えるベニズワイは漁獲されにくく、カニ籠に比べて未成体個体の割合が高かった。細工1籠には大型雄の混獲は防ぐ効果が認められたが（50% 選択甲幅88.2 mm）、雌およびバイ類の漁獲には影響しなかった。細工2籠では、ベニズワイ雄の選択率が最大でも0.34と大幅に混獲が減少したものの、大型バイ類の漁獲も減少した。以上の細工について実際の漁業への適用について議論した。